

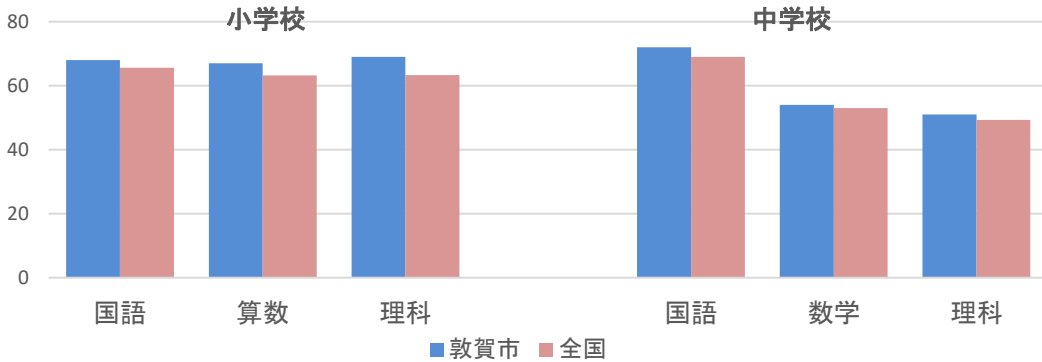
敦賀市教育委員会では、平成28年4月より全市的に「小中一貫教育」を進め、小・中学校の先生方が「つながり」を意識し、学びの「つまずき」をなくすための授業づくりに取り組んできました。家庭・地域の皆様のご協力もいただき、本市の子どもたちは着実に力をつけてきています。今年度の調査結果についてお知らせします。

## 知

### 教科に関する調査の結果

#### 本市と全国の平均正答率(%)

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
敦賀市	68	67	69	72	54	51
全国	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	49.3



今回は4年ぶりに理科を加えた3教科の調査となりました。

いずれの教科においても、本市の小学6年生、中学3年生ともに、平均正答率で全国平均を上回っていることが分かりました。

- ・令和4年4月19日実施
- ・小学6年生 国語・算数・理科
- ・中学3年生 国語・数学・理科

[調査問題はこちら](#)



#### 【全国学力・学習状況調査について】

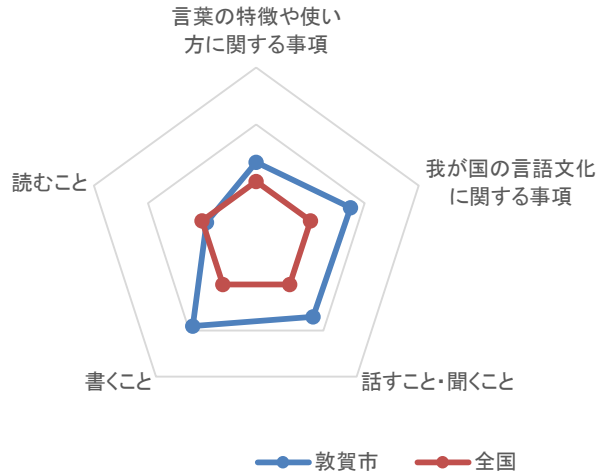
児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として、小学6年生・中学3年生を対象に実施されています。

本調査の結果は学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎませんが、この結果を今後の授業改善に生かしていきたいと思っております。

学習指導要領の内容別の結果(本市と全国)

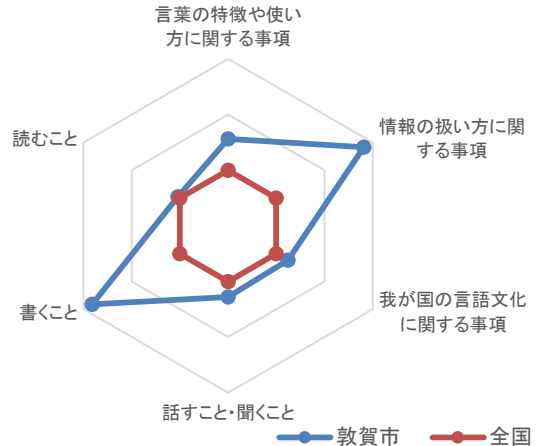
小学校

学習指導要領の内容		敦賀市	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	51.7	50
	我が国の言語文化に関する事項	53.7	50
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	53.5	50
	書くこと	54.5	50
	読むこと	49.6	50



中学校

学習指導要領の内容		敦賀市	全国
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	52.8	50
	情報の扱い方に関する事項	59.1	50
	我が国の言語文化に関する事項	51.2	50
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	51.4	50
	書くこと	59.1	50
	読むこと	50.2	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・小中学校ともに、ほぼすべての面で全国平均を上回っています。
- ・特に、「書くこと」について、敦賀市の子どもたちが力をつけていることが分かります。記述問題における「無答率」も全国と比較して小学校では3.2%、中学校では7.6%低く、授業をはじめ、学校生活のあらゆる場面で書くことを大切にしてきた成果が表れています。
- ・「国語の勉強は好きですか」という質問に対して、肯定的な回答が、全国平均に比べて、小学校では10.5%、中学校では16.2%高くなっています。国語に対して敦賀市の子どもたちが興味・関心を抱き、主体的に学習していることが分かります。

○良好であること ●課題であること (設問別)

【小学校国語】

- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること 【1三】(次頁参照)
- 言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えること 【1二】
- 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること 【2一(1)】(次頁参照)

【中学校国語】

- 文脈に即して漢字を正しく書くこと 【2二】(次頁参照)
- 表現の技法について理解すること 【3一】
- 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えること 【3三】(次頁参照)

〈良好〉

小学校

○必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと  
中心を捉えること【1三】

**4 3 2 1** ペンキをぬり直すことが、公園の遊具をきれいにする理由、ペンキをぬり直すことが、公園をきれいにする理由、ペンキをぬり直すことが、ごみがない公園になる理由

【正答】3

岡さん 学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年生から遊んでいる場所です。私は、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにすることで、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。私自身、どうすればよいか考えているところですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん 私は、公園に行くど、おかしなふくろやペットボトルがいつも落ちていて、気がなりません。そこで、ごみを拾うきがあるようにしたいと思います。ア「きれい」というのは、ロボットのことでなく、活動する時間のことです。

山下さん 公園のごみを拾うことは、すぐにできるのよ、と思います。でも、続けることは難しい気がします。私は、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさんのお花を植える、はなやかな感じになる、と思います。

谷原さん イ確かに、山下さんの言うとおり、花を植えることは私たちにもできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることも難しいですね。

山下さん その点については、もう少し考えていきたいと思っています。

前田さん 私は、公園の遊具のペンキをぬり直したいと思っています。

中村さん どうして、公園の遊具のペンキをぬり直すことが必要なのですか。

ウ 「話し合いの様子の一部」で、中村さんが前田さんの発言に対して、部ウのように質問し、知りたかったことはどのようなことですか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

三 「話し合いの様子の一部」で、中村さんが前田さんの発言に対して、部ウのように質問し、知りたかったことはどのようなことですか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

中学校

○文脈に即して漢字を正しく書くこと【2二】

漢字を書く  
二 線部①と線部②のひらがなを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。

…種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な …

【正答】

- ① 除(く)
- ② 喜(んで)

〈課題〉

小学校

●登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること【2-1(1)】

**解答のポイント**

5 4 3 2 1 模型の宇宙船が手に入らない悲しさ、本物の宇宙船を作ることに喜び、本物の宇宙船を作ることに不安、模型の宇宙船を見た感動

【正答】3,5

森田さんは、部①に表れている「ぼく」の気持ちについて考えています。「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを、次の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましよう。

ぼく「の」気持ちの説明として適切なものを選択する

森田さんが、模型の宇宙船を抱きしめた「ぼく」の気持ちを、**複数の叙述を基に**考えていることを捉える必要がある。ここでは、「ぼくは、うれしくなって、ランドセルを床におき、模型に手をのばした」、「つい夢中になって」、「すごいや」、「ぼくは、中の様子を見ようと、模型の窓をのぞきこんだ」、「いいなあ」、「億年前の恐竜にも会ってみたい」、「一千年後の未来都市も見てみたい。それがぼくの夢だった」、「よういっつかぼくが作ろうっ」となどの、**模型の宇宙船を抱きしめたときやその行動に至るまでの「ぼく」の行動や会話、地の文などの複数の叙述を基に、「本物の宇宙船を作ることにあこがれ」や「模型の宇宙船を見た感動」を捉えることが求められる。**

中学校

●場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えること【3三】

**解答のポイント**

本文21～26行目  
本文56～62行目  
本文66～79行目

【正答】  
B ↓ C ↓ A

場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉える必要がある。ここでは、本文の21行目から26行目にかけて、B「息子の遊ぶ様子を見ながら、不意に妙ななつかしさととらわれた」おれの様子で書かれている。次に、本文の66行目から79行目にかけて、C「息子への申し訳なさを募らせて、目の前の息子を頼もしく思う」おれの様子が書かれており、本文の66行目から79行目にかけて、A「昔のことについて、母と電話で押し問答を」続ける「おれ」の様子が書かれている。

話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える  
三 次のAからCまでの「おれ」の行動や心情を、話の展開に沿って順番に並べ替えるようになりますか。A、B、Cを適切に並べ替えて書きなさい。

A 昔のことについて、母と電話で押し問答をする。  
B 息子の遊ぶ様子を見ながら、不意に妙ななつかしさととらわれる。  
C 息子への申し訳なさを募らせて、目の前の息子を頼もしく思う。

読み書きや文法などの基礎・基本や、グループ・ペアでの話し合い活動、自分の意見や考えをねばり強く書くことなど、学校生活の中で積み重ねてきたことが成果となって表れています。

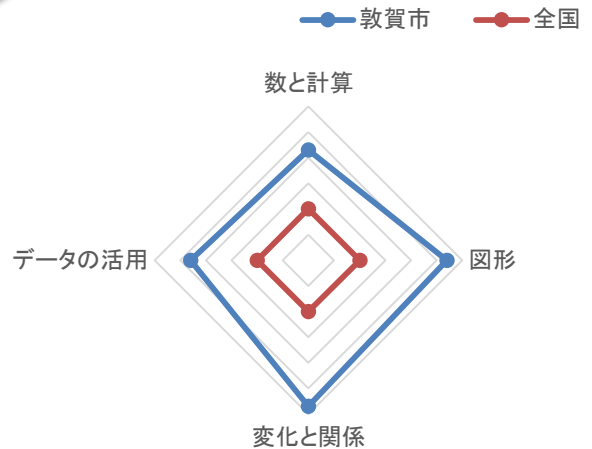
「読むこと」については、それぞれの場面における複数の叙述に着目して心情の変化を読み取るなど、部分から文章全体を捉える学習活動を大切にしていきます。

# ◆算数・数学科◆

## 学習指導要領の領域別の結果(本市と全国)

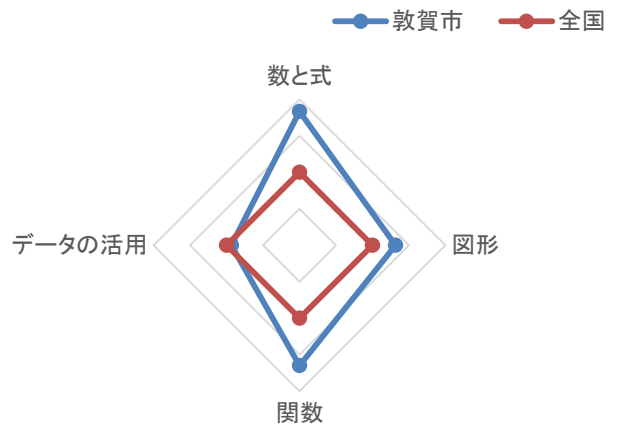
### 小学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
数と計算	52.3	50
図形	53.4	50
変化と関係	53.7	50
データの活用	52.6	50



### 中学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
数と式	55.0	50
図形	51.9	50
関数	53.9	50
データの活用	49.6	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・小学校ではすべての領域で全国平均を上回っています。特に、「図形」、「変化と関係」の領域において、全国を大きく上回る結果となっています。
- ・中学校では、「数と式」、「関数」の領域において、全国を大きく上回る結果となっています。「データの活用」については、全国平均をわずかに下回りました。今後の授業の中で、すべての子どもたちに「わかる」喜びを味わわせることができるよう、各学校で授業改善に取り組んでいきます。

## ○良好であること ●課題であること (設問別)

### 【小学校算数】

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすること 【1(1)】
- 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解すること 【4(2)】  
(次頁参照)
- 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること 【2(3)】(次頁参照)

### 【中学校数学】

- 簡単な連立二元一次方程式を解くこと 【2】(次頁参照)
- 多数の観察や多回数の試行によって得られる確率の意味を理解すること 【5】
- 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ること 【7(2)】(次頁参照)

# 〈良好〉

## 小学校

○図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解すること【4(2)】

### 長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く

(2) 次に、ひろとさんは、正方形のプログラムの一部を変えて、縦3cm、横5cmの長方形をかくために、下のプログラムをつくりました。

長方形のプログラム

```

5cmの直線を引く。
↓
左に90°回転する。
↓
7cmの直線を引く。
↓
左に90°回転する。
↓
7cmの直線を引く。
↓
左に90°回転する。
↓
3cmの直線を引く。
    
```

長方形のプログラムを実行すると、次のように長方形をかくことができました。

実行する前 → 実行した後

左の長方形のプログラムの⑦、⑧に入る数を書きましょう。

【正答】 ⑦・・・3(cm) ⑧・・・5(cm)

解答のポイント

長方形において、2組の向かい合う辺の長さはそれぞれ等しい

## 中学校

○簡単な連立二元一次方程式を解くこと【2】

### 簡単な連立二元一次方程式を解く

$$\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases} \text{を解きなさい。}$$

【正答】  $x = -1, y = 3$

解答のポイント

二つの文字のうち一方の文字を消去し、一元一次方程式に帰着させて解く

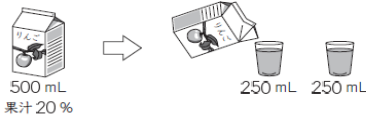
# 〈課題〉

## 小学校

●示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解すること【2(3)】

### 果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ

(3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまどめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

上のアにあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

【正答】 3 ※数量が変わっても割合は変わらない

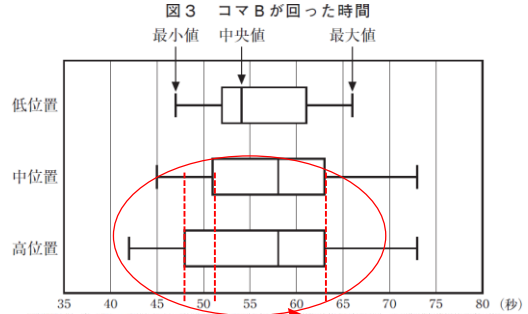
解答のポイント

日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解することが大切

## 中学校

●箱ひげ図から分布の特徴を読み取ること【7(2)】

### 箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ



葉月さんは、前ページの図3の箱ひげ図を比較して考えています。最大値と中央値は、低位置よりも中位置、高位置の方が大きいことから、葉月さんは低位置よりも中位置、高位置の方がより長い時間回ると判断しました。

次に、中位置と高位置の箱ひげ図を比較すると、箱が示す区間は高位置よりも中位置の方が短いことがわかりました。

このとき、箱が示す区間にふくまれているデータの個数と散らばりの程度について正しく述べたものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

- データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。
- データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。
- データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。
- データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。

【正答】 ア

解答のポイント

箱(四分位範囲)には、箱の示す区間の長さにかかわらず、データの約半数がふくまれる

(ここではすべての位置で20回まわっているため、箱にふくまれるデータの個数は10)

本市の各学校では、単に問題を解くことだけでなく、友達と考えを伝え合って学び合うことや、学習の過程と成果を振り返り、学びの定着を図ること等を大切にしており、子どもたちは安定した力をつけてきています。

一方、課題が見られた問題からは、「割合」の本質や、「箱ひげ図」のよさ等を理解できていないことがうかがえます。「授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答した子どもの割合が小・中学校ともに前年度より低くなったことから、同様の課題が見えてきました。今後は、子どもたちの探究心を生かして問題の本質に迫ることや、日常の場面と結びつけ、数学的な見方・考え方を働かせるよさやおもしろさを実感させることを一層大切にしていきます。

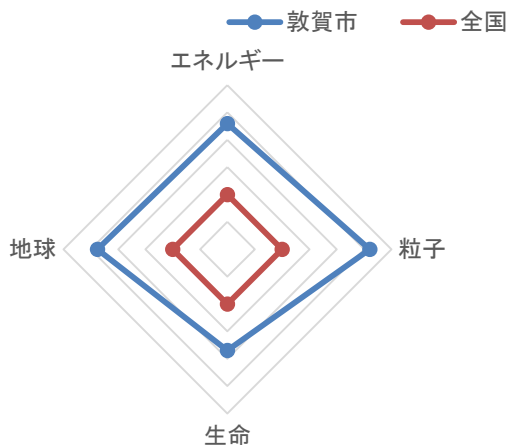


# ◆ 理 科 ◆

## 学習指導要領の領域別の結果(本市と全国)

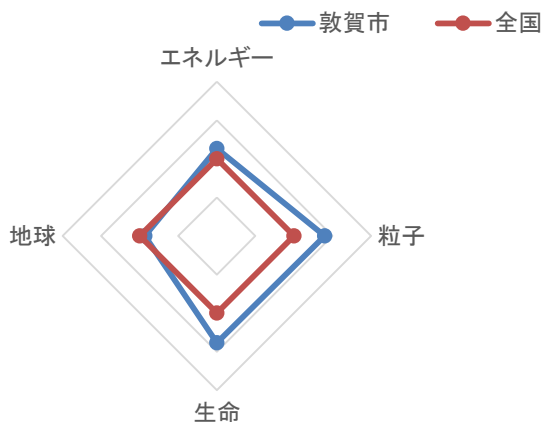
### 小学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
エネルギー	55.2	50
粒子	56.4	50
生命	53.4	50
地球	55.5	50



### 中学校

学習指導要領の領域	敦賀市	全国
エネルギー	50.8	50
粒子	52.4	50
生命	52.3	50
地球	49.8	50



※全国の領域別平均正答率(%)を50として敦賀市の値を算出

- ・小学校では、すべての領域において、全国平均を大きく上回っています。
- ・中学校では、「エネルギー」、「粒子」、「生命」の3領域で全国平均を上回りましたが、「地球」領域については全国平均をわずかに下回りました。この結果をもとに、小・中の系統性を意識して、授業改善に取り組んでいきます。

## ○良好であること ●課題であること (設問別)

### 【小学校理科】

- 自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述すること **【1(2)】(次頁参照)**
- メスシリンダーという器具を理解すること **【2(1)】**
- 自然の事象・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること **【2(4)】(次頁参照)**

### 【中学校理科】

- 化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すこと **【3(1)】(次頁参照)**
- 節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈すること **【4(1)】**
- 静電気に関する知識及び技能を活用すること **【1(1)】(次頁参照)**

# 〈良好〉

## 小学校

○自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述すること【1(2)】

(2) 〈ひろしさんが記録を整理したもの〉に、〈あきらさんの記録〉を加えます。ふさわしいまとめになるように、上のひろしさんの【問題に対するまとめ】を書き直しましょう。

(ひろしさんが記録を整理したもの)

【問題】 ナナホシテントウの育ち方は、どのような順なのだろうか。

5月16日 大きさが1mmのたまご → 5月19日 大きさが2mmの幼虫

5月28日 大きさが9mmの幼虫 → 6月8日 大きさが8mmの成虫

(あきらさんの記録)

6月4日にも観察しているので、この記録も参考にしてみてください。

ナナホシテントウの観察  
6月4日 晴れ 26℃

・すがたが変わり、動かない。  
・アブラムシは食べていない。  
・さなぎになった。

【正答例】  
ナナホシテントウの育ち方は、たまご、幼虫、さなぎ、成虫の順である。

解答のポイント  
2つの記録を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述する。

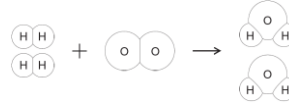
## 中学校

○化学変化に関する知識及び技能を活用して、水の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すこと【3(1)】

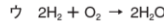
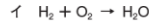
分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す

水素の燃焼を化学反応式で表す場面

温暖化の原因と考えられている二酸化炭素を出さない燃料として、水素が使われました。  
下の分子のモデルで表した図を参考にして、水素の燃焼を化学反応式で表しましょう。



水素の燃焼の化学反応式を、下のAからEまでのの中から1つ選びなさい。



【正答】ウ

# 〈課題〉

## 小学校

●自然の事象・現象から得た情報を、他者の気づきの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述すること【2(4)】

凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く

(4) 砂糖水をこおらせた物は、紅茶に入れるとじずみました。

水をこおらせた物は、紅茶にうくの、砂糖水をこおらせた物は、しずんだよ。

水をこおらせた物 砂糖水をこおらせた物

水を入れても、砂糖水をこおらせた物は、しずんだよ。

水をこおらせた物 砂糖水をこおらせた物

砂糖水をこおらせた物だから、水にしずんだのかな。砂糖水ではない、ほかの水よう液をこおらせた物でも試してみたい。

はるとさんは、試してみたいことをもとに、【問題】を見つけました。はるとさんは、どのような【問題】を見つけただと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

【正答例】  
ほかの水よう液をこおらせた物は、水にしずむのだろうか

解答のポイント

はるとさんの試してみたいことを基に他の水溶液を対象を広げて新たな【問題】を見出した内容で記述する。

他者の気づきの視点

## 中学校

●静電気に関する知識及び技能を活用すること【1(1)】

日常生活の中で、物質が静電気を帯びる現象を選択する

日常生活の動作の中で、物体が静電気を帯びるものとして最も適切なものを、下のAからEまでのの中から1つ選びなさい。

- A 手で地面に触れる。
- I プラスチック製のものさしを布でこする。
- ウ カギ穴にカギをさす。
- E 金属製のドアノブに触れる。

【正答】イ

解答のポイント

「不導体同士をこすり合わせると静電気を帯びる」という知識と、日常生活の動作とを関連付けて理解・活用する。

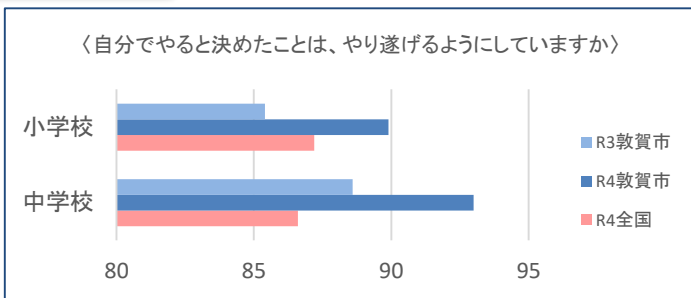
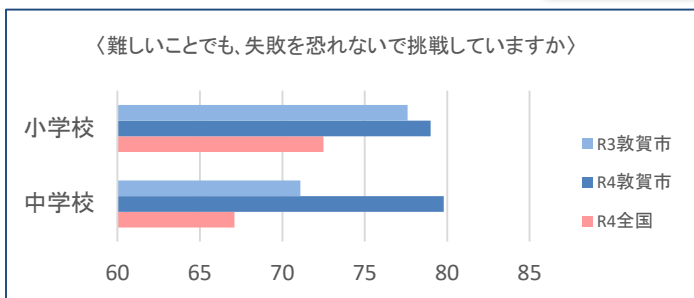
※ 敦賀市においては、62.4%の生徒が「エ 金属製のドアノブにふれる」を選択している。このことから、「放電が起こる」事象を「静電気が帯びる」と誤って捉えていることが分かる。

質問紙の結果から、本市では、理科の学習について「好き」「大切だ」「将来社会に出たときに役に立つ」と考えている子どもが多い一方で、「観察や実験の結果からどのようなことが分かったか考えている」割合がやや低いことが分かりました。今後は、観察や実験を通して明らかになった結果をもとにして考察する力をつけていくとともに、対話を通して自分と他者の気づきを比べ、新たな課題を設定する力を育てていきます。また、日常生活の中の身近な自然事象から問いを見だし、子どもたちの興味関心を引き出して探究する学習活動を大切にしていきます。

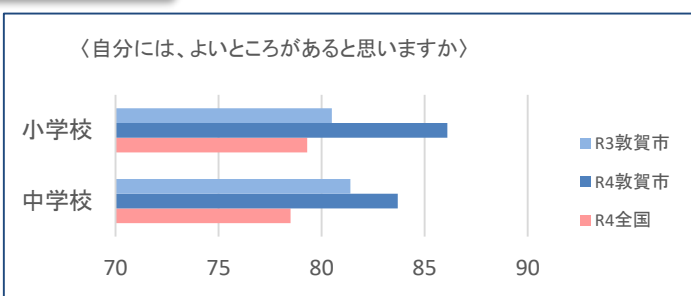
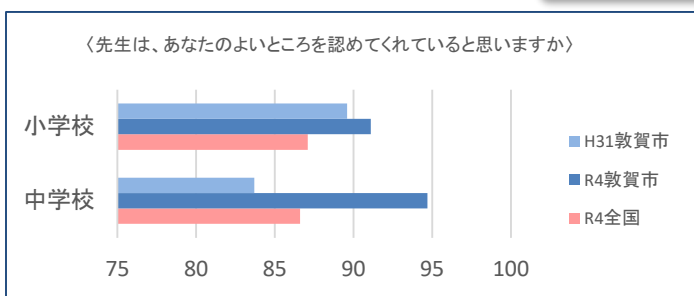
### 良好であること

#### 挑戦心・ねばり強さ

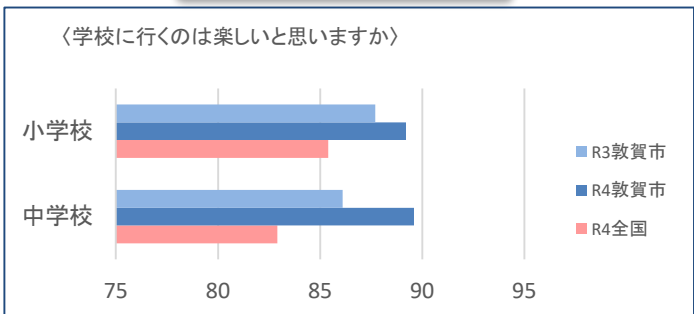
※ 各グラフの値は、肯定的な回答の割合を表しています



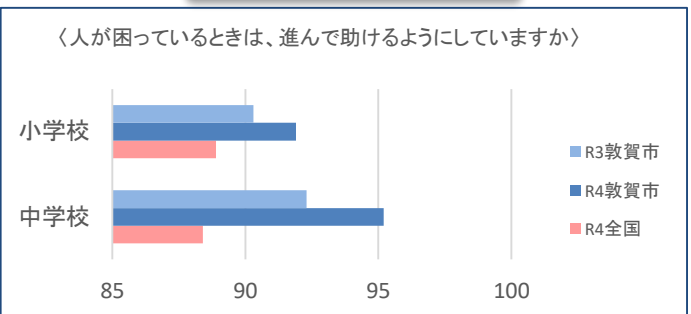
#### 自己肯定感・自己有用感



#### 楽しむ力

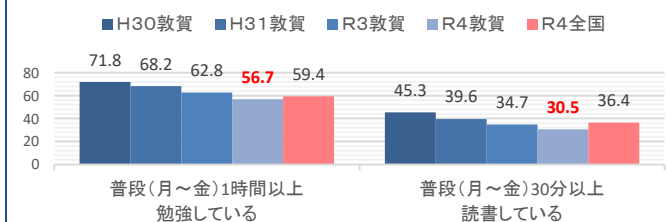


#### 思いやり・公德心

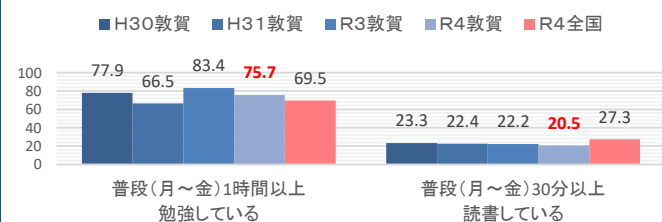


### 課題であること

#### 家庭学習・読書【小学校】



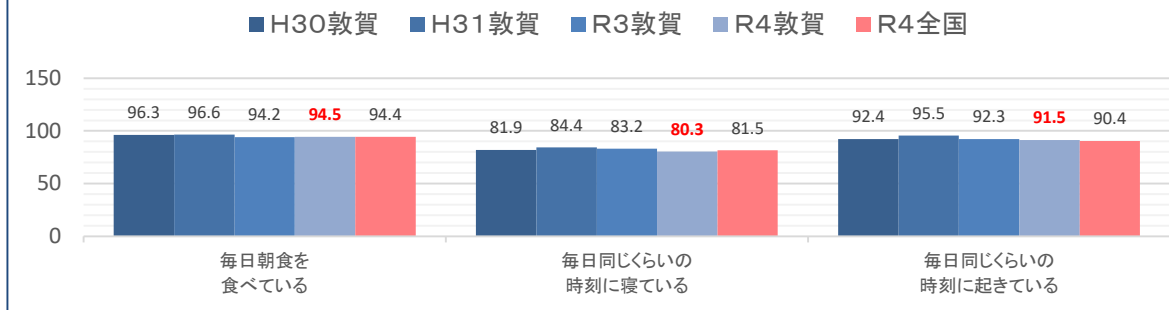
#### 家庭学習・読書【中学校】



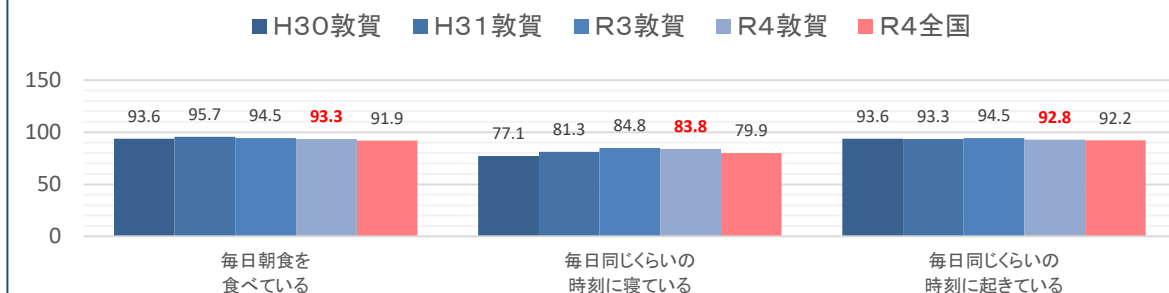
コロナ禍の下、様々な面で制限された生活が続く中、身近な日常の価値に気づき、当たり前ことに感謝する心が育っていることがうかがえます。ピンチをチャンスと捉え、前向きに挑戦したり、日常を精一杯楽しんだりしながら、敦賀の子どもたちは日々心を成長させています。自分もまわりも大切に、互いに苦しいときだからこそ、まわりに手を差し伸べることのできる「人道のまち、敦賀」市民として成長していく子どもたちを、今後も見守り、支えていきます。



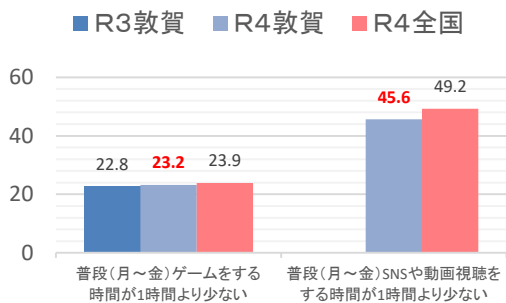
### 生活習慣【小学校】



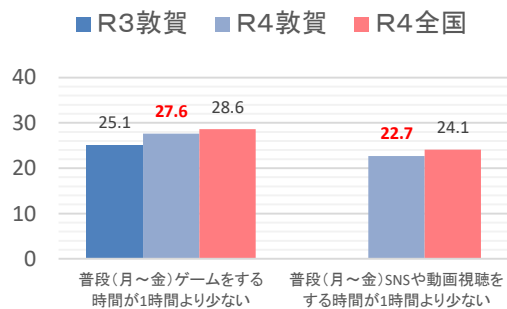
### 生活習慣【中学校】



### ゲーム・SNS【小学校】



### ゲーム・SNS【中学校】



生活習慣はすべての土台であり、心身の健康を支えるものです。敦賀の子どもたちの基本的な生活習慣は、以前から高い水準にあり、コロナ禍の影響を受けつつも、ご家庭の支えにより、その水準を保っています。

今後も、「家族の時間」を大切に、子どもたちにとって安らぎのある居場所であるご家庭での生活を大切にしていきたいと思っております。

制限があるからこそ、様々な工夫により、時間の使い方を身につけるチャンスでもあります。学校も、家庭、地域の皆様と共に、敦賀の子どもたちが心も体も健やかに成長していけるよう努めていきます。